

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄
 No. 174

【様式 2】

エントリー学校名：滋賀県野洲市立中主中学校

活動名：
 主タイトル 生徒が創る「中主」の未来
 副タイトル 地域との協働・循環カリキュラム

解決すべき課題：
 1 生徒：地域の行事に参加するなど「社会参画力」は高いが、自ら課題を解決しようとする力は弱い。
 2 教員：同僚性は高く生徒を共に育てる意識は高いが、地域とつながる中で子どもの良さを伸ばそう、という認識には至っていない。
 3 地域：子どもたちを育てる熱い思いと学校への期待値の高さはあるが、それを学校側が生かされていない。

目標：「自ら考え未来を生きぬく中主っ子の育成」を発展させる仕組みづくり

方針： 1 自ら課題を発見し、「解決に向けてチャレンジしたい」と思う生徒を育てる。
 2 生徒の主体的に取り組む力を育てるため、教員集団が、**地域と連携・協働することの良さを実感しながら**、新たなプログラムを開発する。
 3 **生徒も参加**し、課題の解決に向けて共に考える「熟議」を通じて、地域と学校が協働し、未来を生きぬく子どもが育つ仕組みをつくる。
 4 メディアに取り上げてもらうパブリシティを活用し、地域と学校が**つながるよさを絶えず確認**する。

活動内容：
 1 生徒：発見した地域の課題「親による読み聞かせの減少」を地域と協働し、解決しようと挑み「**未来の中主っ子を育てる**」取組を実行する。
 2 教員：地域と協働する中で、「もっと知りたい」と**地域から学び**、**新たなカリキュラム開発**へつなぐ。
 3 地域：地域と生徒も参加する熟議で、問題解決に向け協働し、**学びが循環する仕組み**をつくる。
 4 パブリシティを活用し、地域、教員の双方の効力感と子どもの自信・成長を促進し活動を持続させる。

活動の成果：
 1 生徒：自身の地域課題が、**地域の方との「熟議」で発展・拡幅**し、生徒自身は問題を解決する力がついた。学校生活にもポジティブに働き、様々な事象への関心へとつながった。〈成果 グラフ 1〉
 2 教員：地域の方と「熟議」を重ね、「未来を生きぬく子どもたち」の育成に向けて、**自らが地域へ出かけ、学び**、その中で、新しい「地域の方との協働・協力」があるカリキュラムを開発できた。〈成果 グラフ 2〉
 3 地域：生徒と協働する効力感を得て、地域のボランティアとして自らも高まる「**学び**」の循環が起こった。
 4 本校の報道が増えたことで、生徒、教員、地域の誇りと自信につながり、**賛同者が増え、協働、発展へと広がり**を見せた。〈成果 図 3〉

アピールポイント（アイデアや工夫）：
 ・生徒は自分で地域の課題を見つけ、解決に向け地域の方と協働し、**読み聞かせを「育てる」活動**として捉えた。この姿に接しながら学校と地域との、「**熟議**」が**機能する仕組み**ができた。
 ・パブリシティを活用することで活動を次へと展開・発展させる仕掛けを作り、**活動の持続性を高める**ことできた。

〈課題〉

1. 生徒 「自ら課題を解決する力」の弱さ	2. 教員 地域とつながりの意識の低さ	3. 地域 学校への熱量・期待値の高さを生かされていない
--------------------------	------------------------	---------------------------------

〈目標・方針〉「自ら考え未来を生きぬく中主っ子の育成」を発展させる仕組みづくり

〈活動内容〉 生徒が**課題を見つけ地域と協働**で解決することで、地域の創発で学校と協働し生徒を育てていこうと、教員と「**熟議**」で深まる。生徒が「**熟議**」に参加し、さらに**生徒の手で発展**していく仕組みを構築した。

〈成果〉

1 生徒の地域との協働への思い 2 教員の地域の連携への思い UP 3 新聞掲載 6 回、びわこ放送 TV

地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。

年度	回数
H30	40
R1	45.8
R2	52

H30→R2 12%UP

教員と地域連携

程度	H30	R1
Aとても	10	20
Bまあ	30	45
Cあまり	40	50
Dまったく	20	25

前年比 38%UP

保護者や地域と連携し、人材を活用しながら教育を進めている

・「休校中でも夏野菜の苗植え 中主中学生農家がサポート」〈中日新聞地方版 2020.5.1 掲載〉
 ・「中主中の菜園を農家が整備」〈朝日新聞地方版 2020/5/1 掲載〉

パブリシティ(発信)

「休校中も読書しよう 中主中で『おおぞら図書室』開館」〈読売新聞 県民情報 2020/5/29 掲載〉

(全校生徒対象アンケート) (学校評価アンケート後期)